

授業科目 身体障害作業療法学実習

【担当教員名】 岩崎テル子、大山峰生、能登真一、 貝淵正人、濱口豊太	対象学年	3	対象学科	作業
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	30

【一般目標：G I O】
作業療法の対象となる身体障害の治療・指導・援助の手技・手段を身につける。

【行動目標：S B O】

1. 心身の基本的障害に対する治療手技を実施できる。
2. 症例分析を行うことができる。
3. 与えられた症例の一般情報と作業療法評価の結果から治療計画を立案できる。
4. 3 の治療計画に基づいてシミュレーション治療を試みる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	身体障害作業療法の治療理論：生体力学的及び神経生理学的アプローチの実際	1	ペアによる実技
2	同上	1	ペアによる実技
3	症例分析方法論（クリニカル・リーズニング、治療効果、予後予測）	2	小グループ活動
4	症例分析方法論（クリニカル・リーズニング、治療効果、予後予測）	2	ペアによる実技
5	脳血管障害：症例に基づく治療計画の立案と治療の実施	3	実習担当患者の再チェック
6	脳血管障害：与えられた症例に基づく治療計画と治療の実施	3	計画と実施
7	脳血管障害： 同上	4	発表
8	脊髄損傷：レベル共通の治療・指導・援助の実施	4	個別実技、確認
9	脊髄損傷：症例別治療・指導・援助の実際	4	個別実技、確認
10	末梢神経損傷の治療・指導・援助の実際	4	個別実技、確認
11	ハンドセラピーの実際	4	個別・ペアによる実技
12	臨床実習に備えて：勉強不十分な疾患に対する作業療法の実施	4	個別orグループ学習（レポート）
13	慢性関節リウマチ、切断、骨折、内外疾患、神経難病、神経筋疾患など		
14			

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書	作業治療学 1 身体障害	日本作業療法士協会	協同医書出版	1999、 3500円
参考書	①作業—その治療的応用、	日本作業療法士協会、	協同医書出版社、	1985、 8500円
	②図解：作業療法技術ガイド、	石川斎、古川宏編、	文光堂、	最新版、7000円
その他の資料				
【評価方法】 出席点：30% 期末試験：実技30% 期末試験：ペーパー40%	【履修上の留意点】 作業の段階づけ、作業分析、動作分析、指導技術を確実に身につけるよう常に努力する。			